

横浜市の小学校で出前授業「トイレとうんちを学ぼう！」

おなかを元気にする食生活、災害時のトイレの備えについて授業

“トイレweek”にあわせ実施

特定非営利活動法人日本トイレ研究所（所在地：東京都港区、代表理事：加藤 篤）は、排泄をととして健康や生活リズムを整えることを目的に、啓発活動「トイレweek」を2025年11月10日（いいトイレの日）～19日（国連・世界トイレの日）に実施しました。横浜市新石川小学校で11月12日（水）に出前授業（協賛：カゴメ株式会社）を行い、おなかを元気にするための食事の大切さや、災害時のトイレの備えとして、能登半島地震でも課題となった携帯トイレの使い方などを伝えました。



乳酸菌の含まれる食べ物を紹介



携帯トイレの使い方を児童と一緒に実演

トイレweek期間中の11月12日、トイレweekの排便記録に参加する横浜市新石川小学校で、3年生95人を対象に、「トイレとうんちを学ぼう」をテーマに授業を行いました。授業では、いうんちをするためにおなかを元気にすること、そのために、いい菌のひとつである乳酸菌が含まれる食べ物がいいことなどを、カゴメ株式会社とともに伝えました。「いうんちをするには何をしたらよい？」という講師の問いかけに、児童からは「早寝早起き、規則正しい生活」などの答えが上がっていました。また、「うんちもおしっこもガマンはよくない」と伝えた上で、大きな災害が起きると水洗トイレが使えなくなることを伝えました。備えとして「携帯トイレ」があれば、断水していても排泄ができることを伝えました。児童と一緒に「携帯トイレ」の使い方を実演し、おうちの人にも児童から伝えてもらうよう話しました。

日 時：2025年11月12日（水）10：35～11：20

実 施 校：横浜市新石川小学校（横浜市青葉区新石川3-12-1）

対 象：3年生（95人）

講 師：日本トイレ研究所・代表理事 加藤 篤

実施主体：特定非営利活動法人日本トイレ研究所

協 賛：カゴメ株式会社

■その他のトイレweek実施内容

（1）小学校・中学校115校2万4644人が排便記録に参加（12月結果公表）

全国の小学校・中学校115校・2万4644人にうんちチェックシートを配布し、トイレweekに合わせて、1週間、排便の有無・便の形状、朝食摂取について記録してもらいます。児童・生徒が体の状態に関心を持ち、健康管理ができるようになること、排便状態の実態を把握することが目的です。 昨年は、小学生で約4人に1人（24.5%）、中学生で約5人に1人（18.4%）が便秘が疑われる結果となりました。

A sample of the 'うんちチェックシート' (Poop Check Sheet) used for the survey. The sheet is titled 'うんちチェックシート' and includes instructions for use. It features a grid for recording data over 7 days, with columns for '排便の有無' (Presence of stool), '便の形状' (Stool shape), and '朝食摂取' (Breakfast intake). The sheet also includes a section for '学 校' (School) and '学 年' (Grade) information.

排便記録に使用するチェックシート

(2)「トイレの教科書2025」を小学校・中学校に配付

災害時のトイレの備え、うんち・おしっこのできる仕組み、うんちと生活習慣などを説明した「トイレの教科書」を、排便記録に参加する小学校・中学校、2万4644人に配付します。親子でトイレ・排泄について学ぶことで、災害用トイレを備えたり、便秘に気付くきっかけにしたり、主体的に生活習慣を整える意識をもつことにつながります。「トイレの教科書」はトイレweekサイトからダウンロードできます。



(3)「うんちっち体操」「災害時のトイレのそなえ」の動画公開

トイレweekにあわせて、平常時も災害時もよい排泄につなげてもらうことを目指し、「うんちっち体操」「災害時のトイレのそなえ」の動画を2本公開します。「うんちっち体操」は楽しく踊ることで、多くの子どもたちがトイレや排泄を肯定的にとらえ、いうんちが出るようになることを期待しています。「災害時のトイレのそなえ」では、水洗トイレが災害時に使えなくなることや、携帯トイレの使い方などを、保護者や学校の先生に伝えることを目指します。

(URL : <https://www.toilet.or.jp/pickup/toiletweek/>)

(4) トイレ・排泄に関する「トイレweek2025標語」募集

トイレ・排泄について、話題にしたり、考えてもらうきっかけとして、トイレマナー、排便・排尿、排泄、災害時のトイレの大切さなどをテーマに、排便記録に参加する小学生・中学生から標語を募集します。子どもたちからのメッセージ（標語）を発信することで、トイレ・排泄が恥ずかしいものではなく、大切なものであるという意識に変えていくことにつなげます。

日本トイレ研究所において入賞作品を選出し、ウェブサイトで公表します。（2025年12月発表予定）

トイレweek2025概要

トイレは生きていくために欠かせない排泄の場であり、排泄はからだの状態をあらわす大切なサインです。

日本トイレ研究所では、トイレ・排泄を大切に考えてほしいという思いを込めて、11月10日「いいトイレの日」から11月19日「国連・世界トイレの日」を「トイレweek」と定め、トイレ・排泄について、話題にする・考える・学ぶ・行動する活動を実施します。

※2020年～2023年は「うんちweek」として実施



開催概要

期間：2025年11月10日(いいトイレの日)～11月19日(世界トイレの日)

サイト：<https://www.toilet.or.jp/pickup/toiletweek/>

目的：排泄をとおして、健康や生活リズムを整えるきっかけをつくる

内容：小学校・中学校を通した児童・生徒の排便記録、特設サイトでの情報発信等

主催：特定非営利活動法人日本トイレ研究所

協賛：EAファーマ株式会社、カゴメ株式会社、管清工業株式会社、マグミット製薬株式会社、花王株式会社、カルビー株式会社、王子ネピア株式会社、株式会社ケンユー、サラヤ株式会社（順不同）

特定非営利活動法人日本トイレ研究所

「トイレ」を通して社会をより良い方向へ変えていくことをコンセプトに活動している NPO です。近年は「子どものトイレ・排泄環境」「災害時のトイレ・衛生環境」「街なかのバリアフリーなトイレ環境」に力を入れています。

所在地：東京都港区新橋5-5-1 IMCビル新橋9F コーポレートサイト <https://www.toilet.or.jp/>

本リリースに関するお問い合わせ先

特定非営利活動法人日本トイレ研究所 担当:高橋

TEL : 03-6809-1308

MAIL: info@toilet.or.jp